

ほすぴたる

組合立病院 ◇ 公立豊岡病院 ◇ 公立豊岡病院日高医療センター ◇ 公立豊岡病院出石医療センター ◇ 公立朝来梁瀬医療センター ◇ 公立朝来和田山医療センター

お医者さん・看護師さんになりたい！ 豊岡小学校児童が病院見学へやってきました



▲白衣を着てハイポーズ！



▲白衣を着て聴診器を持てば気分はお医者さん??



▲真剣に説明を聞く児童たち

◀聴診器の使い方を説明する
三村医師（左）と坂田医師（右）

去る十一月二〇日（火）に、豊岡小学校六年生の児童が豊岡病院へ病院見学に行ってきました。小学校の総合学習授業の一環で、「マイドリーム〜こんな豊岡にしたい〜」をテーマに、仕事調べや身近な職業体験を通して、なりたい自分を考えていく活動をしているそうです。

元氣いっぱいの子供達を迎えたのは、豊岡病院で研修中の、こちらも元氣いっぱいの三村一行医師（二年目）と坂田純一医師（一年目）でした。見学では、二人の若手医師に対しての質問時間も作りました。「なぜ、お医者さんになろうと思ったのですか?」「どんなお医者さんになりたいのですか?」「どれくらい勉強したらなれますか?」などたくさん質問がありました。

会議室での勉強が終わった後は、お待ちかねの病院見学を行いました。普段入ることの出来ない救命救急センターの処置室や、手術室、検査室やCT室などもしっかり見ていただきました。

（次ページに感想文を掲載しています。）

年頭のごあいさつ



公立豊岡病院組合
管理者
しんとう しげき
進藤 重亀

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

医師不足、医療崩壊、妊婦たらい象徴する言葉です。これらの言葉に象徴される医療提供体制の脆弱性は、皆様の身近にある病院においても、既に現実のものとなつています。病床削減、診療科の閉鎖や救急医療の中止など事態は深刻です。

昨年一年間を振り返り感じること、但馬の医療確保対策協議会での議論や医療再編をきっかけに、但馬の各市町の首長並びに医療関係者が『但馬の医療を守る！』という共通の目的を持つことが出来た初めての年であったのではないか、その意味では意義深い年であったのではないかと感じています。共通の課題に直

面したこと、個々の最適化を考へる枠組みから、但馬の医療の最適化を考へる大きな枠組みへ、大きな変化があつた年だと感じました。

我々、公立豊岡病院組合の経営理念には「地域住民の健康な生活を支える中心的役割を果たすとともに、他の関係機関との適切な機能分担と密接な連携を通じて、地域の保健医療福祉の向上に貢献する。」という言葉があります。但馬の医療再編はいったん止まりましたが、今後もそのような大きな枠組みの中から、今ある貴重な医療資源を失わず、どう活かし、どう地域医療の継続につなげていくかを問い続け、模索し続けていきたいと考えています。

今年はずみ年。十二支の最初に戻ります。十二支の「子」には、増える」という意味があるそうです。様々な価値あるものが増えますように…。

今年も市民の皆様にとって最良の年でありますよう心から祈念申し上げます。新年の挨拶いたします。



公立豊岡病院組合議会議長
おかや くにひと
岡谷 邦人

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年十二月の定例議会におきまして、議会役員の改選により組合議長に就任いたしました。医師不足による病院運営はますます厳しさを増しており、地域医療確保の任の重さを実感しております。

昨年は、「公立豊岡病院組合のあり方基本計画・実施計画」が三月にとりまとめられ、十月から組合立病院の医療体制再構築等が具体的に実施に移されました。組合立の病院、各医療センターとも医師不足が続く中で診療体制の縮小を余儀なくされるなど、非常に厳しい計画のスタートとなっております。

医療を取り巻く情勢は、全国的に地方の自治体病院はどこも医師不足によりその運営に窮しており、国の方では、主に財政的な視点から、公立病院改革を打ち出されていますが、地方の「医療崩壊」が危惧され、都会地との医療格差がますます拡大し

病院見学を終えて…

病院見学後の感想文をご紹介します。

ぼくの町の基幹病院への訪問

豊岡小6年 前田 晃伴君

「医者」これは、ぼくのおごれの職業です。ぼくは、総合の授業で「マイドリーム」という学習をするために、豊岡病院に行きました。訪問する前に、色々質問などの準備をしました。本物のお医者さんの前に立つと、とても緊張しました。実際に話をしてみると、やさしく話してくださり、身近に感じました。ぼくが、「医者になって変わったこと」と質問すると「最初は人の病気を治したいという目標だけだったが、医者という職業に就いて、患者を見れば見るほど、相手の気持ちを考へて診察するようになった。」と答えられた。一番聞きたかった言葉だったので、うれしく思いました。経験談を聞いた後、医療設備を見せてもらい、最先端の機器に驚きました。お医者さんの人柄と機器に接してとても安心しました。ぼくも、目標に向かって勉強に励み、心と体を鍛えたいと思います。



ていく方向にあります。

但馬地域には自治体病院に代わる医療機関が少なく、どうしても住民の医療はそれぞれの自治体が設置しています自治体病院（公立病院）が担わなければなりません。

もとより、私たち組合議会議員は、市民を代表して地域住民が設置した公的医療機関のあり方を議論し、決定する立場にあります。市民の皆様方には、現下の医療情勢に対する情報提供を行い、建設的で発展的な意見、要望を十分に踏まえ、組合当局とともに諸問題を解決し、財政の健全化と安全で安心の持てる地域医療の確保充実に努力する所存であります。

本年が市民の皆様にとって健康ですばらしい年になりますよう祈念しまして年頭のご挨拶といたします。

公立豊岡病院組合議会のご紹介

公立豊岡病院組合には、市や町の地方公共団体と同様に議会があり、条例、予算等について審議が行われます。

組合議員の定数及び選任方法は組合規約で定められており、定数14名（豊岡市10名、朝来市4名）で、選任方法は住民の直接選挙によらず、組合構成市のそれぞれの議会議員の中から選任される間接選挙となっています。組合議会の会議は、定例会が毎年4回（3月、7月、9月、12月）開催され、必要の都度臨時会も開催されます。

なお、組合議会の事務を補助するため、議会事務局が置かれています。

【議会議員役職・各委員（定数14人）】（敬称略）

議長	岡谷 邦人（豊岡市）	副議長	斉藤 知行（朝来市）
議会選出監査委員	森田 健治（豊岡市）		

【常任委員会】

（議会運営委員会 6名）

委員長	安治川敏明（豊岡市）
副委員長	上谷 廣志（朝来市）
委員	森田 健治（豊岡市）
〃	谷口 勝己（豊岡市）
〃	森田 進（豊岡市）
〃	斉藤 知行（朝来市）

（総務委員会 7名）

委員長	木谷 敏勝（豊岡市）
副委員長	吉岡 正章（豊岡市）
委員	伊賀 央（豊岡市）
〃	奥村 忠俊（豊岡市）
〃	岡 満夫（豊岡市）
〃	上道 正明（朝来市）
〃	波多野 優（朝来市）

自分の夢に向かって

豊岡小6年 東森 彩香さん

私の夢は、助産婦さんになることです。なぜならうと思っただかと言つと、お母さんがかっこいいなあと思つたことと、そして、妊婦さんと一緒に、がんばって、そして、元気な赤ちゃんを取り出して幸せな家庭を、どんどんふやしていきたいと思つた助産婦さんになりたいなと思つた。

私は、十一月二十日火曜日に豊岡病院をたずねました。そこでは自分の夢のことについて知っておきたいことを私たちが質問して、くわしくこたえてくれました。そして、いろいろな所を見学させてくれたり、「ここは、何なにをるところですよ。」などといねいに案内していただいたりして、本当に、豊岡病院の人たちには、感謝しています。私は、見学して、もつともつと自分の夢、助産婦さんとか、病院のこととかを勉強していきたいと思つた。



豊岡病院で 集団災害医療訓練を実施

去る十一月十七日（土）に、豊岡病院で大災害を想定した「集団災害医療訓練」を実施しました。訓練には、病院職員のほか、豊岡市消防本部、美方広域消防本部、朝来市消防本部など十一機関の関係者約二百人が参加しました。

この訓練は大地震で家屋やトンネルが倒壊し、多数の患者が出たという想定で行い、災害想定現場へ医療チームを派遣。現場で、負傷者のけがの程度を判定する「トリアージ」を行い、病院内では「トリアージ」に応じた処置を行いました。訓練後には、講評と反省会を行いました。



毎年恒例の合同医学会開催 各病院から課題やテーマを発表

公立豊岡病院組合の五つの病院の診療機能の分担と、互いの連携を推進するため、各病院から課題やテーマなどを発表し共有する場として開催しています。平成九年に第一回目を開催してから、今年で十一回目を迎え、職員の間では毎年恒例の行事となっています。

専門的な内容であるため、一般公開ではありませんが、取り組み状況をご紹介します。ありがとうございます。



◀十一月十日（土）
豊岡市民プラザで

新任医師紹介

今回は新任者はありません。
(平成19年12月1日まで)

退職医師紹介

お世話になりました。
(平成19年10月2日～11月30日)
豊岡病院 外科 坪野 充彦

異動医師紹介

※組合内病院での医師の異動をお知らせします。

今回は異動者はありません。
(平成19年12月1日まで)



編集後記

新年あけましておめでとうございます。見学に来てくれた豊小生の皆さん、作文にご協力いただきありがとうございました。紙面の都合で全員分は掲載出来ませんでしたが、三村先生と坂田先生にはしっかりと読んでもらいましたので。中学生になったらトライやるウィークなどもあると思いますので、その時はまた、是非、病院を選んでください。
《編集委員 Y》

◇発行 公立豊岡病院組合 ◇〒668-8501 豊岡市戸牧1094 ◇TEL 0796-22-6111(内線2111)

◇URL : <http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/> ◇E-mail : kikaku@toyookahp-kumiai.or.jp

●本紙掲載の写真・イラスト・記事の無断使用・無断転載は禁じます。